

これ、何のおまじない？

◎安来「サンダワラ」編

遠藤まな美



太さ約一センチメートル、長さ約一・五メートルの竹の上部を縦に割って御札を挟み、その上に直径約二〇センチメートルの**棧俵**（米俵の両端にある藁製の蓋）が突き刺してある。安

来市赤江町では、こんな奇妙なものとどこどこに立ててある。これは一体何なのだろうか。誰が何のために立てているのだろうか。

赤江町のいろいろな人にお話をうかがうと、これは「サンダワラ」とか「オファサン」（御札さん）などと呼ばれているようだ。

宮中川地区のサンダワラ

宮中川地区にお住まいの奈良井昇さんと永田誠治さんによると、宮中川地区では年二回、火祭りのときと夏の土用入りから三日目の「土用三郎」のときにサンダワラを立てる。

奈良井さんによると、火祭りは昔は二月一日（今はその前後の日曜日）に行われた。この日、地区の消防団の人たちが法雲寺から秋葉さん（秋葉神社、

法雲寺の境内にあった）の「赤札」をもらい、地区内に火の粉（火災）が飛んでこないことを祈って、地区の境界（四力所）にサンダワラを立てる。

以前、消防団員であった奈良井さんの話では、火祭りの日には「祝い餅」（米二升を搗いて上下二段の重ね餅を作る）と、白菜・大根・人参・ゴボウ・キャベツの五種類の野菜を秋葉さんに供えた。そして祝い餅の下段はお寺へ納め、上段は消防団の人たちで食べたそう。

同じく奈良井さんによると、土用三郎は七月二十日前後に行われ、「衛生のご祈禱」とも呼ばれている。このときも地区の四力所の境界にサンダワラが立てられるが、これは悪い病が地区内に入って来ないことを祈るものである。

昔は土用三郎の日は、朝は赤江八幡





「若連中」という人たちが決められており、サンダワラもこの人たちが作って立てている。

土用伍郎の日の午前中は、地区のみんなで歳神さんのお宮に集まってお祓いをしてもらい、その後みんなで直会をする。午後には、若連中の人たちが獅子の面と天狗の面を持って各家を回り、家内安全と無病息災を祈る。若連中の人たちは各家を回りながら、地区の境界にサンダワラを立てて行く。

中島地区のサンダワラ

遠藤彰治さんによると、中島地区は宮中川・豊島・才下の各地区とともに安来消防団赤江分団一団を組んでいるので、宮中川地区と同じ火祭りの日に法雲寺から火除けの御札（赤札）をもらって、地区の境界（三方所）にサンダワラを立てている。しかし、中島地区では平成十八年まで赤江八幡宮から一月に疫病除けの御札をもらっていたが、この御札でサンダワラは作らなかつたそう。つまり中島地区では、火祭りのサンダワラは立てるが、疫病除けのサンダワラは立てないのだ。

の悪いものが地区内に入つてこないようにするためのおまじないであることがわかる。そしてサンダワラには起源が異なる二つの種類があることもわかる。ひとつは「悪病除け・虫除けのサンダワラ」であり、もうひとつは「火災除けのサンダワラ」である。

赤江八幡宮の廣江久美子さんによると、悪病除け・虫除けで使われる御札は「邑界御神札」といい、赤江八幡宮が各地区に配っている。この御札をも

宮に、昼からは安来神社にお参りをしていた。昔このあたりで赤痢が流行したとき、安来の祇園さん（安来神社にある）に参ったら治ったことから、この儀礼が始まったと言われている。また、安来神社の紋がキュウリの切り口に似ていることから、宮中川地区の奈良井さんなどの三軒の家では、今でもキュウリを作っではいけないというしきたりがある。

上坂田地区と山根地区のサンダワラ

上坂田地区と山根地区では、火災除けのサンダワラは立てていない。

上坂田地区の近藤伴幸さんによると、上坂田では「衛生のご祈禱」のときに、地区の境界（三方所）にサンダワラを立てる。その御札は、七月十日（今では七月の第一日曜日）に赤江八幡宮と安来神社の両方からもらう。そして、これらの二枚の御札はそれぞれ別のサンダワラで立てている。

山根地区の島田篤紀さんにお話をうかがったところ、山根ではこの儀礼を土用の五日目に行くことから「土用伍郎」と呼んでいるそうだ（現在では土用の日曜日に行っている）。山根でもサンダワラは地区の境界（六方所）に立てられるが、「虫除け」のために立てているそうだ。山根では神事を行う

以上のことから、サンダワラは地区の境界に立てられ、疫病など

赤江八幡宮による「邑界御神札」の各地区への配布（廣江久美子さんより）

地区	日にち	目的	枚数（邑界の数）
中島	1月（第1日曜）	願掛け	3
出来須	1月	？	？
才下	2月1日	願掛け	5
西赤江	7月10日	虫除け	5
宮中川	7月（第1日曜）	悪病除け	4
上坂田	7月10日ごろの日曜	悪病除け	3
山根	7月24日	虫除け	7（6？）

注：赤江八幡宮の現在の講中（氏子）は、宮中川、才下、中島、豊島、越前、出来須、論田、宮須、住吉、別石、福井、下坂田、庄司原、上坂田、山根、西赤江、神塚の17の地区である。



らう儀礼はだいたい夏の土用の期間に行われているが、中島・出来須・才下など一月の終わり頃や二月の初め頃に行う地区もある。赤江八幡宮の祝詞には、この儀礼は「除疫・家内安全・五穀豊穰」を祈るために行われることが書かれている。

法雲寺の住職である楯野光範さんによると、火災除けの御札は法雲寺から各地区に配布される。法雲寺には今は残っていないが昔は秋葉神社があり、火・健康・商売の神様である秋葉大権現を祀っていた。二月には法雲寺で火祭りが行われ、そのとき、サンダワラにつける「赤札」と呼ばれている御札と、各家庭に配る秋葉さんの御札が配

布される。法雲寺が赤札を配布しているのは、中島・才下・宮中川・豊島・山根の各地区である。

これらの二種類のサンダワラはそれぞれ起源が異なるものであり、立て方も地区によって様々である。片方だけ立てている地区もあれば、両方一緒に立てているところもある。前の年のサンダワラをそのまま残して新しいサンダワラを立てる地区もあり、そこでは同じところに何本も立っているのを見かけることがある。

また、今では藁で棧俵さんだわらを作ることができる人が少なくなってきたり、棧俵をつけずに御札だけ竹に挟んで立てているところもある。棧俵そのものには

最近では、サンダワラを立てることで自分が目的になり、本来の意味を知ることが少なくなってきた。取材のときも、サンダワラのことを知っている人を探すのに苦労した。立てることをやめる地区も出てきており、サンダワラはだんだんと姿を消しつつある。お話をうかがった方たちも、このようなことが行われなくなりつつあることに寂しさを感じているようだった。

サンダワラを立てている赤江町の人たちは、このような慣習はとくにめず

らしいものではなく、他の地域でも行われていると思っているようだ。しかし、小泉凡さん（民俗学者）によると、島根県内では他に例がないそうだ。つまりサンダワラは、この赤江町の貴重な文化資源なのである。この町で生まれ育った私も、この貴重な文化資源を自信を持って残していきたい。

（えんどう・まなみ／文化資源学系一年）



勾玉作り体験記

小室喜美子

玉湯町は弥生時代の終わり頃から玉湯町と松江市をまたいでいる山、花仙山で採れためので管玉、勾玉などの「玉作り」を行ってきた歴史がある。しかし、平安時代には玉の需要が減少

し、「玉作り」はされなくなり、製造技術も途絶えてしまう。

その後、江戸時代の末期になって若狭、甲斐から「めのお細工」の技術が導入される。そして、「めのお細工」

は村中に広がり、村の重要な産業となった。しかし、大正時代をピークに

「めのお細工」も少しずつ衰退していった。その理由には、需要が減少したことがあげられる。花仙山での石の採掘も戦前は盛んだったが、戦後はほとんど掘られていない。そして現在、玉湯町内で「めのお細工」を行っているのは「いずもまがたまの里 伝承館」のみとなっている。

こんな玉湯町の歴史を学ぶために、中学の頃「勾玉作り」の体験学習があった。花仙山へ行ってめのお細工を採り、勾玉の形になるまで自分で加工していくというものだった。そのときはなかなかいいものが作れたと思ったが、今見ると形は勾玉だが美しい出来とはいえない。「前回よりもいい出来のものを

作る！」ことを目標に、再度「勾玉作り」に挑戦してみることにした。

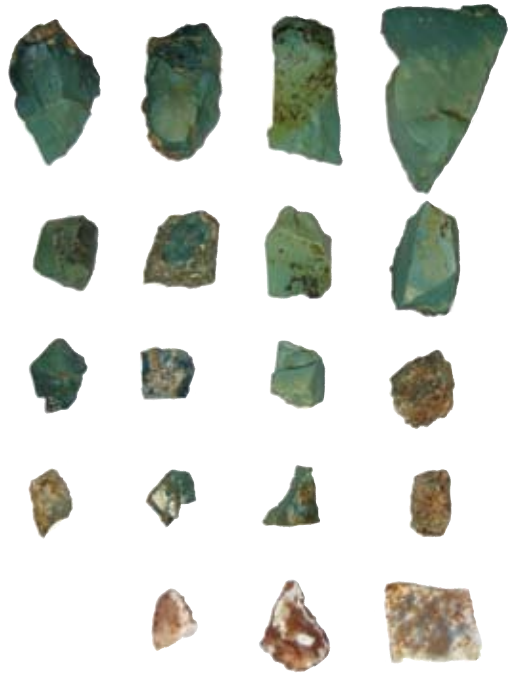
材料採取

前回の勾玉作りと違うこと、それは何もかも一から自分で準備して進めなければならぬということだった。まず、花仙山へ勾玉の材料となるめのお細工を採りに行くわけだが、全く何もわからないので玉作資料館館長の勝部衛さんに相談した。いくつか採れそうな所を紹介してもらい、加工法、石についての説明もしてもらった。さらに山の案内もしていただいた。花仙山の昔の採掘穴周辺には今もめのお細工の破片が落ちていたので、それを拾って回った。



■(写真上)かつて、めのお細工を掘っていた採掘穴。(下)採掘場の周辺部。小さなめのお細工がたくさん落ちている。





■花仙山で採ったためのう

う細工でもやってきたやり方だ。徐々に機械化が進んで道具は変わっていったが、手順ややり方の基本は現在も変わっていない。

加工開始

私が選んだためのうには、いくつかのヒビが入っていた。金槌で変なところへ衝撃を与えてしまうと亀裂から割れてしまうかもしれないと思い、①

採れたためのうの中から一番深い碧色をしたものを選んで、勾玉作りに使うことにした。縦十五ミリ、横二十ミリ、厚さ八ミリくらいの四角い形の石で、こんなに小さな石を本当に勾玉の形にまで加工することができるのか不安だったが、とにかくやってみようと思いい作業に取りかかった。

加工に必要な砥石と金槌は玉作資料館からお借りした。加工の手順は、

- ①石を金槌で欠いていって、おおまかな形を作る
- ②目の粗い砥石で砥いで凹凸を消す
- ③目の細かい砥石で砥いで表面をツルツルにする
- ④穴を開ける

である。今回私が挑戦する加工法は、古代の玉作りでも江戸末期からのめの



■めのうの加工に使用した道具、砥石（荒）、（細）、たらい、サンドペーパー、ヤスリ、金槌

の作業はほどほどに②の作業に移った。水の入ったたらいに砥石を置いて、水をかけながらめのうを砥石にこすり付ける。それでも、表面から奥に入っている割れ目から石が割れないよう、力の加減も考えた。

全体を丸くした後、勾玉のくぼみの部分を削る。この部分を作るのが、勾玉作りの中で一番難しい。砥石の角にくぼみを作りたい部分をあて、そこだけを削っていった。くぼみが出来た石を手のひらに置いて眺めてみると、さっきまで単に丸い形だったのに、なんだか急に勾玉の形に見えるようになった。

さらに形を整えていく。勾玉は先端に向かって細くなっていく。その滑らかな丸みは大切な部分なので、そこには力を入れようと、そこには力を入れようと思っていた。内側はうまく出来たが、外側は最初から入っていたヒビが無数に重なっており、砥石で削れば削るほど破片が欠けていった。この部分からパキンと割れて真っ二つになった失敗作を『のんびり雲』に載せるのは嫌だ！と思いい、キズを消すことはあきらめて、この部分はこれ以上構わないことに決めた。

次に③の作業に入る。砥石を目の粗いものから目の細かい



■砥石（細）で表面につやをだす。



■サンドペーパーをかける。

いものに換えて、勾玉の表面がつるつるになるまで削っていく。艶やかな表面になったところで完成である。ここまでの作業に要した時間は、細かく数えていないが、十時間くらいだと思いい一日約三時間を三日続けた。これで私の「勾玉作り」は終わった。

勾玉の不思議な形

勾玉は丸っこい不思議な形をしているが、あの形は一体何なのだろうか？
ちょっと調べてみた。

いろいろな説があり、胎児説、月説、牙説、角説などがある。どれも「なるほど」と思う。胎児だとするとあの穴は目なのだろうか？ 勾玉が急にかわいく見えてくる。安産祈願や子どもの成長を願う意味もあったのかもしれない。牙や角だとしたら、動物に対する信仰があったのだろうかと思う。月であったなら、古代の人々は月に神秘性を感じてその思いを形にしたのかもしれない。こうやって考えていると、まだまだ想像は膨らんでいく。どの説にしても古代のロマンが詰まっている。

私は何かを作ったりすることが好きで、一つのこと集中すると時間も忘れて周りの音も聞こえなくなる。作業中は一人で集中してひたすら石を削っていて、様子を見にきた家族からは「ずっと無表情で怖かった」と言われた。

あとはこれに穴を開けるわけだが、それは私には出来ない。柔らかい石の場合は、電動ドリルで穴を開けることができるらしいが、硬い石の場合は無理なので、穴開けは伝承館の職人さんに頼んだ。

二週間後に穴が開いた完成品が届いた。前回と今回の勾玉二つを見比べ、「前回よりもいい出来のものを作る！」という目標は達成出来たと思った。今回一番学んだのは、イメージを形にするのは本当に難しいということだった。



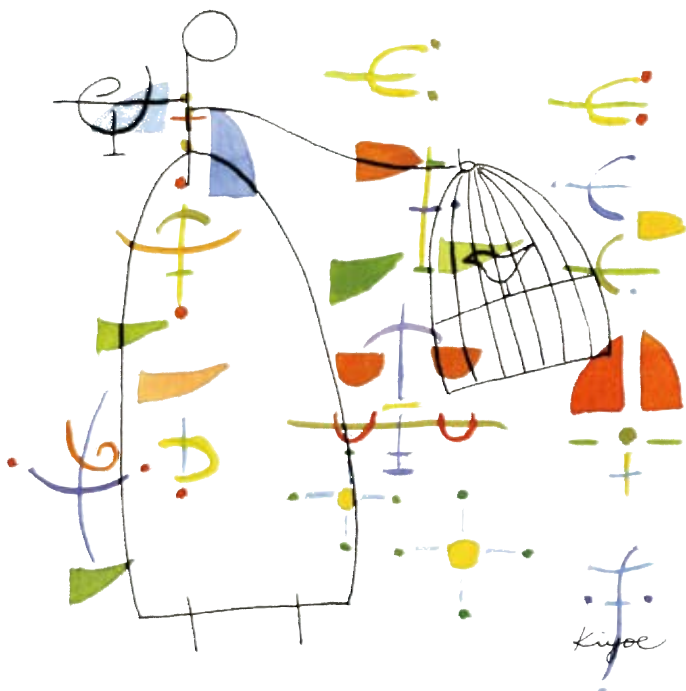
加工法の歴史など新しく知ったことも多かった。この勾玉作りを通して、玉湯町の「玉作り」「めのう細工」の歴史を感じることができた。

山の案内や道具の貸し出し、アドバイスなど玉作資料館館長さんには大変お世話になりました。勾玉の穴あけで伝承館の方にもお世話になりました。本当にありがとうございました。

(おむろ・きみこ文化資源学系一年)

参考文献

- 勝部衛「めのう掘り聞書」『玉湯町立出雲玉作資料館年報(一)』玉湯町立出雲玉作資料館、一九八〇年。
- 出雲玉作資料館ホームページ。



英語を学んで どんなこと？

伊藤善啓

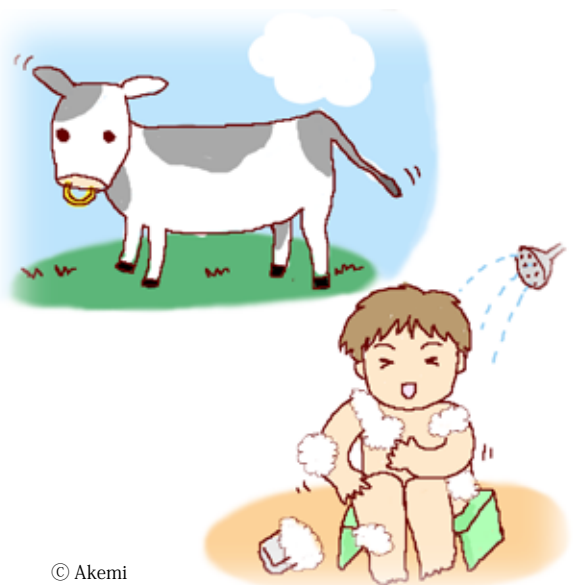
『のんびり雲』創刊準備号(二〇〇六年)では、「カ
タカナで英語を遊ぶ」と題し、不思議な不思議なカ
タカナ語について述べてみました。今回は、「英語
を学んでどんなこと？」と一緒に考えようという
趣向です。そのために、身近な例を拾って、日本語
と英語を比べてみましょう。さあ、またまた英語を
遊んでください。

さわやかレモンちゃん……でも……

あることばを耳にする時、私たちがとっさに思い
浮かべるイマージュ(カタカナ語をほとんど使おっ
と)は、多くの日本人にほぼ共通する場合があるも
のです。

例えば、レモン。多分、私たちは「ビタミンCでいっ
ぱいの、すがすがしくて、健康的なくだもの」として、
プラスイマージュを持っているのではないでしょう
か？ 高村光太郎は、「智恵子抄」の中で、床に臥
せる妻の智恵子が、きれいな歯でレモン(檸檬)を
カリリとかじると、トパアズ色の香気が漂う様子を
詠っています。じゃ、英語ではどんなイマージュだ
と思いますか？「欠陥品、特に程度の悪い中古車」
を意味します。なんで？と聞かれても、困ります。
とにかく、マイナスイマージュです。その反対の「程
度の良い中古車」は cream puff(クリームパフ)で
表されます。cream puff とはシュークリームのこと
です。このシュークリーム、英語のように聞こえるの
ですが、フランス語から来ているのか。

かつて、「牛乳石鹸良いせっけーん」とテレビで
宣伝していたブランド名ですが、米国人の友人が「ど
うして牛乳と石鹸が結びつくのかわからない」と
言っていたのを思い出します。でも、日本人なら、大



© Akemi

自然の下で、豊かにはぐくまれた乳牛に想いをはせ
ることでしょう。その乳牛がくれるミルク。それは
大自然からのさわやかな贈り物。そして、湯上りの
ほのかな石鹸の香り。私たちにとって、これらがお
互いに引き合うのは自然の成り行きだと思われま
す。

大手電気器具メーカー松下が、松下と言う名前を
使わない理由を、随分以前に耳にしたことがあります
すよ。それによると「英語式に発音すると、シが強
く発音される。シタはshit(シット)に通じる発音
だからよろしくない」でした。この説明、マユツバ
な気もしますが、確かに、shitを思い浮かべさせる
ようなブランド名はいけませんなあ。shitとはウン
チのことですから。

特に、ブランド名や商品名は、会社にとって重要
です。「クリープ(Creep)」は、コーヒーや紅茶に

入れて飲用するためのものですが、僕の知っている米国人は、異口同音に「ヘンチクリンな名前!」と驚いてました。Creepと同じ発音の持ち主であるこの商品だからです。ちなみに、Creepは「(虫などが)はう」という意味を持ち、「いけ好かない奴」としても用いられています。虫が背中をはう様子を考えただけでも、ぞつとしますよ。

ギンコーは銀行じゃなかった!

「ところかわれば品かわる」と言われていますが、なるほど、アチラで口にする食べ物物は日本のとは違ってますなあ。国際都市バンクーバー。たどたどしい日本語で「ラーメンあります」と書いてある食堂では、日本では普通使われない具がラーメンの中に入っていましたよ。パセリやセロリですぞ。

ことばにしても、日本語と同じ(ような)発音が聞こえると思うと、その中身は全く違うものだったのです。

十年前、米国に居た頃のこと。タコということばをテレビコマーシャルで耳にしました。すると、タコは蛸じゃなくて、メキシコ料理のタコ(タコス)のことだとわかったのです。なあーんだ。

また、当時、Enco(エンコー)というブランド名のガソリンが売られてましたが、テレビのニュースでこの名称が取り止めになったことを知りました。何でも、エンコーということばは、車に関して良いイメージを持たない国がある、というのがその理由でした。僕は、とっさに日本ではないのかと思ったことでした。今ではほとんど耳にしませんか、車が動かなくなった状態を、「エンコしちゃったよ」と表現してましたから。



© Akemi

米国人の友達と一緒にダウンタウンに行き、道路を横切ろうとしていた矢先、彼が僕に大声で「お茶っ」と叫んだのです。実は、車がこちらに近づいていたので「気ーいつけや! (Watch out! ウォッチ・アウト!)」と、僕に注意をうながそうとしてたのです。

ギンコーは銀行じゃなかったんです。てっきり日本語が使われたのかと思っただけですが、「銀杏いちょう」のことでした。なぜかって? 銀杏を表す ginkgo はギンコーと発音されるからです。どつりで、話のつじつまがあわないと思っただけ。

東京のあるホテルに泊まっていた時、ロビーで小耳に挟んだ会話です。数人の日本人と、彼らのお客さんと思しきアチラの人たち数人とが英語で話してました。

一人の日本人「チョウシヨク(朝食) ハばいき

んぐニナツテイマスノデ……」(英語で言ったと思ってください)

アチラの人たち「????????????」

一人のアチラの人「ナンデスカ、ソレハ?」(やっぱり、英語で言ったと思ってください)

僕は、おかしさをこらえるのに苦労しましたよ。バイキングはバイキングでも、英語で言うバイキング(Viking)は違います。あの有名な海賊バイキングですよ。食事のバイキングはButter(バター)、あるいはビュッフエ)ですぞ、おーい、そちらの方。

聖書に化けたバレーボール

さて、日本人が英語圏を訪ねた時、果たして、うまくわかってもらえるものでしょうか?

僕の知ってる日本人がアメリカの家庭でホームステイしていた時、バレーボールでもしようよ、ということになり、ボールを貸してくれるようにパパさんに頼んだそうです。そしたら、驚いたことに、聖書を渡されたということでした。これを聞いた僕は大笑いしてしまいましたね。なるほど、volleyball(バレーボール)とBible(バイブル、聖書)は、一歩間違えれば同じ発音になってしまう危険性がありますよ。日本人が持つ発音の弱点が功を奏した例です。以前、日本人が使った奇妙な英語を紹介している本を手にしたことがあります。英語をほとんど話せないその日本人男性は、ホテルに滞在していたのですが、どこかの子供たちが、部屋の前でうるさく騒いでいるのを止めさせようとしたのでした。持参の辞書を引いて、「うるさい」は、noisy(ノイジー)であると知った彼は、廊下に出るや、「ノイジー!」と大声で叫んだそうです。そうしたら、子供たちは、

ますます大声で騒ぎ始めたということでした。どうなってるの？

別の本に紹介されていたお話。英国を旅行していた日本人が Kensington (ケンジントン) までの切符を買うのに、「To Kensington.」(ツー・ケンジントン)と言ったら、切符を二枚渡されたそうです。それは文法的に間違いで、to が正しいだろうと思いを直して「For Kensington.」(フォー・ケンジントン)と言ったら、今度は四枚渡されたというのです。文法中心授業のお手柄でしょうかねえ。それに、to と four の発音の違いも苦手ですなあ。切符一枚なら「Kensington.」だけで良かったんですよ。

まだあります。ある日本人のおじさんが、レストランの席に着くといきなり、ウエートレスさんに向かって、「悪いことをしました。申し訳ありません」と手をあげながら大声で何度も謝っていたんだそうです。実は、Excuse me.と言わなければならぬところを、「I am sorry. I am sorry.」と言ってウエートレスさんに注文をしようとしていたのです。けなげなお話じゃないですか。僕なんぞ、涙が出ますよ。

「神様のご加護がありますようにー!」
「?????」

それでは、私たちは、原語が英語の映画を、どのように受け入れているのでしょうか？ 外国映画を楽しむのに、字幕スローや吹き替えに頼りますよね。かなり以前に、『ジュラシック・パーク』というアメリカ映画を見ました。恐竜が襲って来る映画です。その中で、恐竜の子供がくしゃみをする場面があったんです。その時、そばに居た人間が、その子に Bless you! (ブレス・ユー) と言ったわけ。字

幕スローの訳では「おだいじにね」だったので。「うまいー!」と思いましたよ。アチラではくしゃみをした人へ、一緒に居た人がこういふふう言っておあげるのです。「神様のご加護がありますようにー!」って。でも、私たちには、ピンときませんよね。そこで、日本人にわかりやすいように「おだいじにね」が使われたのです。くしゃみを風邪の引き始めと思う人が多いからでしょう。私たちの文化に合うよう、焼き直されたのです。でも、ことばのアヤや駄洒落を訳すことは並大抵のことではありません。

ここで、僕は、造船の大家がアメリカから招待され、講演会が催されたお話を思い出します。壇上での先生のすぐ横には日本人の通訳者がついていて、日本語に訳していくのです。



© Akemi

“Ladies and gentlemen, there are many kinds of ships in the world.....”

「皆さん、世界には多くの種類の船がありまして.....」

スポーツマンシップ フレンドシップ
Sportsmanship, friendship.....”

「.....」

さあ、この駄洒落をどのように始末するのか、たじたじとなった通訳者はやがて、「みなさん、ここは駄洒落おもしろいところですので、笑ってください」と言ったそう。何が何だかわからない聴衆は、とにかく笑ったんです。自分の駄洒落が通じたと思った先生は気を良くして講演を続けたそう。めでたし。めでたし。

ところかわれば意味わからなくなる

方言と呼ばれる地元のことばを耳にする時、この日本の中でさえ、うまく話がかみ合わないことは珍しくありません。ましてや、意味のすれ違いは、日本人が接する英語との間に起こらないはずはありません。

ここで、僕がちよっとおもしろいと思った表現をいくつか紹介しましょう。

pie in the sky —— 「空にあるパイ」って何のこと？ パイはおいしいけど、でも、空にまで手が届くかな？ 届かないなら、パイを手に入れることはできないよ。だから、「絵に描いた餅」という意味。パイは餅に当たるわけ。

put my foot in my mouth —— 「口の中に自分の足を引っこめ」って、こんなことできる？ 実は、「すっかりとへまなことを口にす。ドジをしでかす」という意味。

husbandが「節約して使う」という意味を持つ
 てること知ってた？ 日本と違って、亭主が一家の
 財布の紐を握っているといわれているアチラでは、
 これも有りでしょうね。

TGFとは、「花の金曜日」、略して「花金」のこと。

英語では「Thank God, it's Friday!」神様ありがと。
 金曜日だあーい！と言います。で、その頭文字。

hot potato — 「熱々のじゃがいも」。これは、
 どうにか想像が付きそうです。焼きたてのじゃが
 いもは熱くて、素手では持てたものじゃありませ
 ん。扱い次第では、やけどの元。そう。「困難な問題。
 難題」というわけです。でも、なんでじゃがいもな
 の？

butter him up — 「彼にすっかりバターを塗り
 まくる」？ なんか考えられないぞ。第一ベトベ
 トして、気持ちが悪いはず。それでも、「彼にゴマ
 をする。へつらう」という意味なんだよ。どうも今
 一、ピンとこないなあ。

pull my leg — 「僕の足を引っ張る」って、何



© Akemi

だろ？ 答えは、「僕に冗談を言う」です。冗談で
 足を引っ張られちゃ、痛くてたまらんわい。
 てな調子で意味を推測していくと、結構おもしろ
 いものです。推測しやすい英語表現と、推測するの
 が難しいものと、さまざまですから。

ところかわれど品かわらず……でも……

おもしろいことに、日本からニワトリをアチラ(英
 語圏の国)に持ち込むとたんに、その鳴き方が違っ
 てきます。犬でも猫でも、小鳥でも、みんなみんな
 そうです。とたんに、英語で鳴きだすのですから驚
 きです。えっ、そんなバカなって？ そうです。場
 所が変わっても鳴き方はかわらないのですが、聞く
 人の耳によって違うように聞こえるのです。それ
 は、身近にいる動物がどのようにアチラの人々に聞
 こえるのかを少し紹介しましょう。

まず、ニワトリです。日本人の耳には「コケコッ
 コー」と聞こえますが、アチラの人々には「カッカ

ドウドウルドゥ (cockadoodle-doo)」となるので
 す。「ニヤーン、ニヤーン」と鳴く猫は、「ミャーウ
 (meow)、ミャーウ」、犬は「バウバウ (bowwow)」
 「メエーメエー」羊は「バアアア (baa)」です。
 小鳥のさえずり「チュンチュン」は「チャープ、チャー
 プ (chirp)」といふふうで聞こえるのだそうです。

ちなみに、僕が感心するのはうなぎです。うなぎ
 は鳴かないって？ いえ、うなぎを表す英語のこと
 です。英語ではeelです。アチラの人が発音すれば、
 「イーユ」に聞こえるのです。「イーローユ」。いか
 にも、にゆるっとした、ながーい生き物を表してい
 るではありませんか。このことば、僕のお気に入り
 なのです。

……して？

今見てきたように、発音、文法、習慣、表現、単語
 どれ一つを取ってみても、英語と日本語の違いはあ
 まりにも大きく、これら二つのことばをくっ付ける
 のは、ほんとうに大変なことなんです。って、ここで、
 「英語を学ぶってどんなこと？」への僕の考えです。
 英語を学ぶことは、英語と日本語の間を自由に行き
 来できる道を、自分の手で開いていくことじゃない
 のかなあ。

(いとう・よしひろ／英語学)

参考文献

- 『小学館ランダムハウス英和大辞典』
- 大谷泰照・堀内克明(監)『The English Odyssey
 社会人のための英語百科』大修館、二〇〇二年。